

決算審査特別

委員会の審査から

総務費

▼2款1項1目 一般管理費

問 地域情報通信基盤設備費のうち、加入者再引込業務委託料8365万5000円の内容について伺う。

答 平成28年度から実施した旧真岡市街地と長田交差点付近の幹線の光ケーブル化に伴い、幹線から加入者宅までのケーブルの再引込みを行ったもので、一般加入世帯1678件、行政施設18件を実施した。

問 避難所整備費1214万2000円が支出されているが、整備された避難所は何か所で、どのようなものを購入しているのか。

答 市内に50か所ある指定避難所のうち、11か所に防災用の備蓄倉庫を設置したものであり、合わせて備蓄倉庫に配備する非常用発電機、サークルライト、石油ストーブ、四つ折り担架などの資機材を購入したものである。

▼2款1項6目 企画費

問 シティプロモーション冊子作成業務委託費294万9000円について、印刷冊数と配布方法を伺う。

答 「充実した子育て支援、子育て・教育環境やしごと環境」の内容を柱とした冊子5000部を作成し、東京都内のふるさと回帰支援センターや東京23区の区役所で配布するとともに、市内の観光拠点に備え付けたほか、都内で開催する移住相談会などで活用している。

▼2款1項13目 諸費

問 防犯パトロール事業費2462万4000円の内訳について伺う。

答 年間を通して、毎日午後5時から翌日の午前2時までの間、2班体制で市内110か所の公園、河川敷等を重点的に青色回転灯搭載車により行うため、巡回パトロール業務を北関東総合警備保障株式会社に委託した費用である。



民生費

▼3款1項1目 社会福祉総務費

問 障がい児通所支援事業費のうち、放課後等デイサービスの事業費が、28年度と比較して29年度大幅に増額となった理由を伺う。

答 利用日数が増加したためであり、利用者全員の年間実利用日数の合計は、平成28年度が9538日であるのに対し、29年度は1万7678日であり、約1・9倍に増加している。

▼3款1項3目 老人福祉費

問 老人福祉タクシー助成金177万8000円を助成しているが、何世帯が利用しているのか。また、タクシー利用券の交付枚数に対する利用率を伺う。

答 老人福祉タクシー助成金を利用した世帯数は、748世帯である。交付枚数に対する利用率は、2万8916枚を交付し、そのうち2万5397枚が利用されたので、87・8%である。



農林水産業費

▼6款1項3目 農業振興費

問 新規就農者育成確保支援事業費のうち、空き施設等有効活用促進事業費交付金27万5000円の物件数について伺う。

答 いちご用パイプハウス2件で、延長550m分を交付した。

問 人・農地問題解決加速化支援事業費のうち、機構集積協力金3458万1000円について、前年度より2660万円増額となっているが、理由について伺う。

答 農地中間管理機構の活用について、積極的なPRを図ったことにより、離農や経営転換する農家が増加し、農地の貸し借りが進んだことによるもので、機構集積の実績は、昨年度に比べて176件の増で222件、集積面積は、約177haの増で216・6haとなった。

